

## プレスリリース

2015年10月13日



**2014年度の人事業務領域のアウトソーシング総市場は2,385億円、外販主体のBPOベンダーが33.8%、シェアードサービス企業が60.6%、その他が5.7%のシェア**

**2017年度にはシェアを拡大させるBPOベンダーがシェアードサービス企業のシェアを逆転**

**2019年度には、BPOベンダーのシェアが6割に迫る**

情報・通信分野およびアウトソーシング分野の市場調査機関である株式会社ミック経済研究所（本社：東京港区、社長：有賀 章）は、CRM/フルフィル/BPO（人事業務）市場の実態と中期予測を捉えたマーケティング資料「CRM/フルフィル/ビジネスプロセス アウトソーシング市場の現状と展望 2015年度版」を、2015年9月30日に発刊した、と発表しました。

同資料の中で同社は、人事業務領域におけるアウトソーシング総市場と人事業務に含まれる給与計算業務の市場ポテンシャルを推定しています。

### <人事業務アウトソーシング総市場>

今回調査では、BPO市場の中の業務で中心的なポジションの人事業務についてBPOベンダーだけでなく、シェアードサービスセンター企業および士業が請負っている業務の市場まで合わせて、その総市場規模を算出している。

当社が定義する人事業務に含まれる業務は、給与・賞与計算、人事・労務管理（勤怠管理含む）、福利厚生管理、採用・研修の4分野である。因みに、採用・研修については、単に求人広告の制作や出稿など人事部門の業務の一部を切り出して請負うものは含めず、あくまでクライアントの人事部門に成り代って業務を請負うものを対象としている。

調査の結果、2014年度の人事業務アウトソーシングは、外販（グループ外への販売）中心のBPOベンダーの市場規模が前年比111.3%と2ケタ増の80,500百万円である一方で、シェアードサービスセンター企業の市場規模は、前年比99.2%とマイナスで推移し144,500百万円、会計事務所や社会保険労務士事務所のいわゆる士業分野などその他市場の規模が13,500百万円であり、総市場としては238,500百万円になることが分かった。

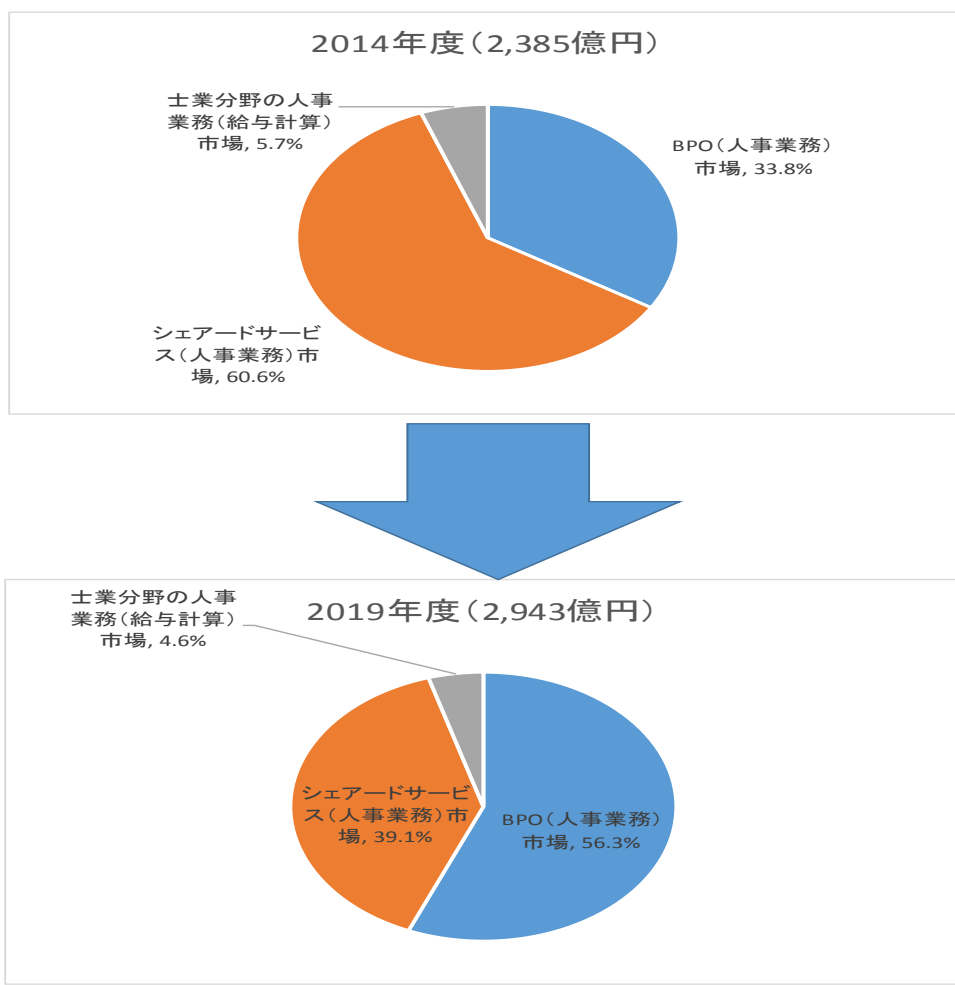
総市場のトレンドは緩やかなアップトレンドで推移するが、市場を構成する各分野の市場のトレンドにはかなりの差が見られる。

BPO ベンダーの市場規模は、マイナンバー導入がトリガとなり、人事業務の内製化による運用に限界を感じ始めた企業が、業務をアウトソーシングする方に舵を切ったこと、またグループ会社からの強力な値下げ圧力によりシェアードサービスセンターが仕事を請けきれなくなってきたことなどが追い風となり、2015年以降年平均15.5%の成長率で拡大すると予測される。

逆にシェアードサービスセンター企業の市場トレンドは年平均マイナス4.5%のダウントrendが予測される。(※シェアードサービスセンター企業とは、グループ経営の視点から、社内または企業グループ内で分散して行われている業務を、子会社に集中化し、処理する企業のこと)

以上により、2014年度にはBPO市場が33.8%、シェアードサービスセンターが60.6%であった市場における構成比は、2017年度に逆転し、更に2019年度にはBPO市場が56.3%、シェアードサービス市場が39.1%にまでなることが予測される。

#### ■人事業務アウトソーシング総市場におけるシェア推移



※ 当該資料の詳細は以下の URL からご覧下さい。

<http://www.mic-r.co.jp/mr/00920/index.html>

**株式会社ミック経済研究所**

担当：竹田 啓一

東京都港区芝 4-7-8 芝サンエスワカマツビル 10F

TEL：03-5443-2991

E-mail：[ktakeda@mic-r.co.jp](mailto:ktakeda@mic-r.co.jp)

URL：[www.mic-r.co.jp](http://www.mic-r.co.jp)